



むさしだい

学校だより12月号

令和5年11月30日

中野区立武蔵台小学校

校長 若菜 康史

心を込めると宝物になる

生活指導主幹 大倉 恒星

私は今年度、1年生を担当しています。先日の体育科の授業でのこととお話しします。

その日は、マット運動の学習で、後転の練習をしていました。体育館で6つのグループに分かれて練習をしており、できる子どもできない子もいました。そこで、私は「できるようになった人は、できない人に教えてあげてください。」とみんなに言いました。

あるグループでは、3人中2人ができるようになりました。すると、その2人は、もう1人の子に熱心にコツを教えたり、「あともうちょっとだよ！」などと、励ましの声を掛けたりしていました。私も一緒に練習に参加したのですが、あと一歩のところまで、なかなか回ることができません。

授業が終わる頃になったので、「最後に1人1回やってみましょう。」と、話しました。さあ、最後の挑戦です。私は、祈るような思いでその子の様子を見ていました。その子は、何度も練習したようにマットの前にしゃがみ、手を耳の横に当て、勢いよく後ろに倒れました。すると…なんと、くるりと回ることができたのです！その瞬間、「やったあ！」と、はじけるような笑顔でその子は喜びの声を上げました。そのとき、教えていた子ども、大きな拍手で、まるで自分のことのように喜んでいました。そして、教えてもらった子は、「本当にありがとう！」と2人に感謝の言葉を伝えていたのです。

私は、この様子を見て、とても幸せな気持ちになりました。その後、学級みんなにもその出来事を伝え、学級みんなでも3人に拍手を送り、みんなが幸せな時間を共有しました。

ここからは、私が思ったことについて話します。

まずは、教えていた2人についてです。その2人は、もう自分たちはできるようになっていたわけですから、それで満足していても悪いことではないと思います。ましてや1年生です。まだまだ自己中心的な発達段階でもあります。それでも、2人は友達のことを考え、熱心に教える道を選びました。さらに、友達が喜んでいる姿を見て、まるで自分自身のことのように喜んでいました。

次に、できるようになった子についてです。あれだけ何度も諦めずに練習したのですから、自分ができたことをただ喜んでいても、自然なことかもしれません。それでも、その子は自分のために一所懸命に教えてくれた2人に対しての感謝の気持ちを忘れず、心から「ありがとう」という言葉を伝えていました。

この3人から学ぶことは、「心を込めると宝物になる」ということです。友達を思う気持ち、一所懸命に練習する気持ち、友達の成果を心から称賛する気持ち、お世話になった人への感謝を大切にすること…それら全てに心がこもっていたことを感じます。そして、そのことが大きな感動や喜びを生みました。

勉強ができること、運動ができること、物があること、お金があること…それらは幸せになるための一要素ではあるかもしれませんが、それらが満たされていたとしても、幸せが待っているとは限りません。人が幸せと感じるのは、心の中に自分が宝物と感じるものがあるかどうかなのだと思います。そして、日々の中に、そんな宝物を創る場面はいくらかでもあるということを学びました。

「心を込めると宝物になる」

私自身も、これからもたくさんの宝物を子どもたちと一緒に創り、たくさんの幸せをみんなを感じたいと思います。

第6学年 北中野中学校との小中連携

年に2回の北中野中学校での体験活動(オープンキャンパス)や、北中野中学校の教員が武蔵台小学校で授業をする乗り入れ授業などを通し、小学校から中学校への円滑な小中連携を目指しています。

6月には音楽科の授業で乗り入れ授業を行い、中学校で取り組むリズム・合唱の学習に取り組みました。児童は、北中野中学校の音楽科の教員の授業を体験し、小学校との違いを感じていました。

1回目のオープンキャンパスでは、まず中学校生活について、生徒会の生徒から説明を聞きました。1日の過ごし方や学習、行事など、中学校での生活が具体的にイメージできました。後半は授業体験。興味のある教科を自分で選び、授業を受けました。中学校の先生の専門的な話や、更に興味を引き出されるような内容に、緊張も少しずつほぐれ、楽しんでいました。

2回目は、部活動体験です。自分で選んだ部へと分かれ、先輩達に教えてもらいながら一緒に活動しました。小学校で知っていた先輩も遅く見えた子も多かったようです。もとより高かった部活動への期待が更に高まりました。

2度のオープンキャンパスを通し、4月の中学校への進学がぐっと現実味を増し、更に楽しみになりました。



健康づくり 保健委員会活動

委員会活動は、特別活動の児童会活動に位置づけられている教育活動です。後期保健委員会では、「武蔵台小のみんなをけがや病気から守る」というめあてを決め、日々活動しています。

常時活動としては、水質検査と石けん・手指消毒薬のチェックがあります。様々な病気の予防には手洗いが有効であると言われており、全校児童の健康維持のため、毎日こまめにチェックしてくれています。

また、11月の活動では、武蔵台小のみんなをけがや病気から守るためには、何ができるだろうか?と委員長を中心に考え、意見を出し合いました。意見から、武蔵台小の児童の健康に関する課題を見付け、ポスターやグラフを用いて啓発活動をすることになりました。これまでに学習したグラフの作り方を応用し、まとめる方法も自分たちで選ぶ予定です。右の写真は、保健室来室者のけが別の人数を調べている様子です。どんな発表になるのか、楽しみにしててください。



保健委員会の児童の活躍は子どもたちの健康づくりに結び付いています。これからも子どもたちの健康を守っていけるよう、保健室から応援します。

道徳授業地区公開講座

11月11日(土)に、道徳授業地区公開講座を行いました。2校時は、全学級で道徳科の授業を行い、3校時は「“道徳”って難しいね～分かっていることを行動に移すことができる子どもたちを育てるために、私たちにできること～」をテーマに、意見交換会を行いました。御参会くださった皆様、ありがとうございました。

意見交換会で挙がった話題や、アンケートに書いていただいたことについて、一部御紹介します。御家庭でも、ぜひ話題にしてみてください。



【意見交換会について】

- ・学校での取組を知ることができてよかったです。改めて家に帰ってから、家族でも話し合いました。
- ・意見交換会と聞くと、どうしても近付きにくいイメージがありましたが、思ったよりも気軽な交換会でした。また、詳しく話を聞くことができて、よかったです。
- ・様々な意見にはっとさせられ、貴重な機会となりました。
- ・人前で意見を言うことはすごく苦手ですが、参加できてよかったです。道徳科の授業で学んだことについて、親子で話していきたいと思います。
- ・たくさんの保護者の方がいらっしゃると思ったのですが、参加者が少なく若干寂しかった気はします。しかし、出席した人はそれぞれの立場で意見が言え、有意義な時間だったと思います。来年度も、よろしく願います。
- ・参加された保護者の方々が、子どもたちのことをよく考えていることが分かりました。このような機会を通して、家庭同士のつながりが強くなることも願います。

【子どもの様子・道徳教育の重点としたいことについて】

- ・武蔵台小学校の子どもたちには、挨拶ができるようになってほしいと思います。朝の見守り当番でも、こちらから声掛けしても、ちらっと目を見て通り過ぎてしまう子がたくさんいます。地域の一員として、挨拶は家庭、学校共に教えていかなければならないと思います。
- ・友達の行動、発言について気にしない力、流せる力を育てていきたいです。
- ・相手の立場に立って考えられるようになるといいです。自分と違う意見を排除するのではなく、受け入れられるようになるといいです。
- ・わが子が最近、親の言動に対して「そういうことをやってはいけないよ。」と注意してくるようになりました。親もはっとさせられる場面も多く、学校で多様な意見・立場を尊重する素晴らしい教育を受けているのだと日々感謝しています。
- ・失敗や、嫌な思いをしたときなど、マイナスの局面にあった場合、頭では分かっていること、学んだことが発揮できなくなってしまうことから、小学生の頃から、いつでもやり直せるということを学べるように、学校の計画に反映してほしいです。



【大人ができることについて】

- ・理想として「こういう行動をしたい」と思っているけど、いざそういう場面になると、思っている行動ができないことが多々あると思います。できる限り、子どもの気持ちに寄り添いながら、何度も何度も言葉と行動で確認していくしかないのかなと思っています。これからも、学校と家庭がつながっていったらいいなと思います。
- ・親の考えを押し付けるのではなく、子どもに伝わるように分かるように話すということが、日常生活の忙しさの中で、できていなかったと思いました。また、当たり前のことを当たり前と見逃すのではなく、子どもの心を考えてあげたいと思いました。
- ・大人が模範となる行動を率先して見せていくことが必要だと思いました。
- ・学校、家庭、学童(キッズプラザ)で情報を共有し、それぞれの立場で道徳教育のアプローチをしていくことが必要だと考えました。学校だけで心の豊かさを育てるには限界があると思うので、それぞれが共通認識をもって取り組んでいけたらと思います。

委員会活動

武蔵台小学校では、自分たちの力で学校生活を豊かにしていくために、5、6年生が（代表委員会のみ、4年生も参加）9つの委員会に分かれて活動しています。それぞれの委員会でめあてを立て、全校児童が、より安全により楽しく学校生活を送れるよう、委員会活動の時間だけでなく、休み時間などにも一人ひとりの力を合わせて取り組んでいます。子どもたちが考えた各委員会のめあて（後期）を紹介します。

- 広報委員会……協力し、責任をもって読みやすい新聞をつくろう
- 放送委員会……みんなが聞きやすいように協力して楽しく放送しよう
- 飼育・栽培委員会……生き物に思いやりをもって育てよう
- 体育委員会……体育を好きになってもらえるような活動をしよう
- 図書委員会……本の魅力を学校全体に伝え、楽しく読んでもらおう
- 集会委員会……武蔵台小学校のみんなが楽しめる明るくなる集会にしよう
- 保健委員会……武蔵台小学校のみんなをけがや病気から守ろう
- 給食委員会……みんなで協力して、楽しく活動しよう
- 代表委員会……笑顔あふれる過ごしやすい武蔵台小学校にしよう



【12月の主な行事予定】

日	曜	朝	主な行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	体育朝会	放課後学習教室(6年)	5	5	6	6	6	6
2	土								
3	日								
4	月	安全指導朝会	安全指導 委員会活動 なわとびタイム始 放課後学習教室(3年)	5	5	5	5	5	5
5	火	ベーシック	たてわり班活動 放課後学習教室(2年)	5	5	6	6	6	6
6	水	学級指導		5	5	5	5	5	5
7	木	朝読書	放課後学習教室(4年)	5	6	6	6	6	6
8	金	学級指導	特別時程 学習発表会(児童鑑賞日) 放課後学習教室(5年)	5	5	6	6	6	6
9	土	学級指導	土曜授業日(学校公開) 学習発表会(保護者鑑賞日)	4	4	4	4	4	4
10	日								
11	月	全校朝会	クラブ活動 放課後学習教室(3年)	5	5	5	6	6	6
12	火	ベーシック	社会科見学(5年)	5	5	6	6	6	6
13	水	学級指導	特別時程 午前授業 避難訓練	4	4	4	4	4	4
14	木	朝読書		5	6	6	6	6	6
15	金	学級指導	連合音楽会(5年) 放課後学習教室(6年)	5	5	6	6	6	6
16	土		ウインターコンサート						
17	日								
18	月	全校朝会	色覚検査(4年) 放課後学習教室(3年)	5	5	5	6	6	6
19	火	ベーシック	放課後学習教室(1年)	5	5	6	6	6	6

日	曜	朝	主な行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
20	水	学級指導	特別時程 午前授業 避難訓練予備日	4	4	4	4	4	4
21	木	児童集会	放課後学習教室(4年)	5	6	6	6	6	6
22	金	みんなのきまり ふりかえり	なわとびタイム終 放課後学習教室(5年)	5	5	6	6	6	6
23	土								
24	日								
25	月	冬休み前朝会	給食終	5	5	5	5	5	5
26	火		冬季休業始						

冬季休業日 12月26日(火)~1月8日(月)

【1月初めの主な行事予定】

日	曜	朝	主な行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
9	火	冬休み明け朝会	5時間授業 給食始 安全指導	5	5	5	5	5	5
10	水	学級指導	発育測定(6年)	5	5	5	5	5	5
11	木	朝読書	発育測定(5年) 放課後学習教室(4年)	5	6	6	6	6	6
12	金	ユニセフ朝会	発育測定(4年) 放課後学習教室(6年)	5	5	6	6	6	6
13	土	学級指導	土曜授業日(学校公開) 校内書初め展始(~27日) 薬物乱用防止教室(6年)	3	3	3	3	3	3